

堺市上下水道事業経営診断書（R4 年度事業）【概要版】

堺市上下水道ビジョン 経営管理のしくみ

1 計画（予算）と実績評価（決算）の関係

▶ 上下水道ビジョンに基づき、単年度に実施する取組と目標値を「単年度実施計画」として策定
▶ これに基づき事業を実施・進捗管理し、経営診断において結果を評価・分析
▶ 評価結果は、次年度事業や予算編成に反映

ビジョンにかかる取組を進捗管理するため、単年度実施計画において体系化

- 基本方針（3 項目）
- 施策（13 項目）
- 事業（46 項目）
- 業務（73 項目）

堺市上下水道ビジョン【投資計画+財政計画】
↓
単年度実施計画【予算】
↓
経営診断【決算】
実績評価

2 PDCA サイクル（経営管理）の流れ

R4 年度 (10月) 前期事業実施【D】 後期事業実施【D】 中間評価【C①】
R5 年度 (10月) 前期事業実施【D】 後期事業実施【D】 中間評価【C①】

【P】Plan（計画）
【D】Do（実施）
【C】Check（評価）
【A】Action（反映）

3 経営診断の目的

PDCA サイクルの「Check（評価）」として、自己評価と外部評価（懇話会）を実施し、評価結果を公表することで、透明性・客観性を高め、ビジョンの実効性を確保する。

4 経営診断の方法

(1) 経営の健全度
決算結果に基づく「経営分析」（経営指標・財政計画）
(2) 計画の進捗度
単年度実施計画の「計画評価」（事業実績・達成状況）

5 経営診断の手法

(1) 経営分析
経営指標を活用し、事業成果を数値化
①収益性 ②安定性 ③効率性 ④料金の 4 区分で、「経年比較」「大都市比較」により分析
(2) 計画評価
ビジョンの目標値に対し、単年度の進捗管理として、施策（13 項目）ごとに評価

- 事業実績から達成状況を 4 段階で評価
- S:「目標を超えて達成した」
- A:「目標を達成した」
- B:「目標を概ね達成した」
- C:「目標を達成できなかった」

(1) 経営の健全度（経営分析）

■ 水道事業		【自己評価】		■ 下水道事業		【自己評価】		
【主な経営指標】		※水道基本料金免除の影響を控除した場合						
評価区分	経営指標	望ましい方向	R4 年度	R3 年度	大都市平均 (R3)	評価区分	経営指標	
収益性	経常収支比率 (%)	↑	93.3 (※105.2)	↘ (↘)	106.7	113.2	収益性	経常収支比率 (%)
安定性	自己資本構成比率 (%)	↑	64.5	↘	67.0	70.0	安定性	企業債償還元金対減価償却費比率 (%)
効率性	有収率 (%)	↑	93.7	↗	93.4	92.7	効率性	職員一人当たり処理人口 (人)
料金	料金回収率 (%)	↑	86.6 (※99.6)	↘ (↘)	101.3	105.9	料金	経費回収率 (%)

(2) 計画の進捗度（計画評価）

1. 安全安心なライフラインの確保		2. 将来に向けた快適な暮らしの確保	
【施策評価】		【施策評価】	
施策名	R4 年度	R3 年度	施策名
(1) 安全で安心な水道水	A	A	(1) 里道・私道の汚水整備
(2) 震災に強いまちの実現	A	B	(2) 川や海の水環境が良好に保たれるまちの実現
(3) 雨に強いまちの実現	A	A	(3) 上下水道が安定的に機能するまちの実現 (施設の維持管理と更新)
(4) 危機管理対策の推進	A	A	(4) 上下水道が安定的に機能するまちの実現 (持続的な企業経営)
【主な事業実績】		【主な事業実績】	
▶ 耐震化（水道）	… 優先耐震化路線の構築は計画を上回る進捗配水池の耐震化において一部遅れが生じている（家原寺配水池更新工事において、R3 年度に着手が遅れたことを受け、工期短縮を図ったが、依然進捗が遅れあり）	▶ 老朽化（水道）	… 管路、設備の維持管理、更新を計画どおり実施
▶ 耐震化（下水）	… 重要な管きよの耐震化工事を計画どおり実施	▶ 老朽化（下水）	… アセットマネジメントに基づき管きよ、設備の点検、改築更新を計画どおり実施
▶ 浸水対策	… 浸水危険解除重点地区のうち金岡地区等の雨水整備を推進 また、R4 年 9 月 2 日大雨により被害を受けた地区に対して、被害状況に応じた対策の検討・実施	▶ 経営改革（水道）	… 未利用資産の利活用とし浅香山浄水場跡地の売却公募を行ったが、参加申請事業者がなかったことから取り止めとなった。
▶ 危機管理対策	… 給水機能の確保として区役所 4 か所と指定避難所 1 か所に災害時給水栓を設置	▶ 経営改革（下水）	… 水洗化促進など経営改革に取り組んだが、その効果額で動力費等の増加額を賄うことができなかった。
【主な指標】		【主な指標】	
指標名	単位	実績値	目標値
優先耐震化路線の耐震化率（水道）	%	97.4	96.0
重要な管きよの耐震対策率（下水）	%	97.8	97.8
重点地区の浸水対策実施率（下水）	%	85.8	85.8
災害時給水栓設置数（水道）	箇所	101	100

(3) 計画期間全体の総括（H28-R4）

3. しんらいを築く堺の上下水道への挑戦	
【施策評価】	
施策名	R4 年度
(1) お客さまとのパートナーシップの形成	C
(2) 人材育成の充実・運営体制の強化	A
(3) 先進的な取組への挑戦	S
【主な事業実績】	
▶ 広報広聴	… 健康福祉局と連携した取組が、GKP（下水道広報プラットフォーム）主催の広報大賞でグランプリを受賞
▶ 広域連携	… 「府域一水道に向けたあり方協議会」において、「大阪府水道基盤強化計画」の策定に向けて議論
▶ 公民連携	… 公と民が共に育つ仕組みを構築するため「堺市上下水道局包括的民間委託に係るモニタリング基本方針」を確立
▶ DX 推進	… マンホールポンプの監視設備ついて、AI 診断機能を搭載したクラウド監視システムを導入し、予防保全型の維持管理体制を構築
【その他】	
R3 年度及び R4 年度に施工した工事において、不適切な契約・対応を行っていたことが判明し、その調査報告書を R5 年 6 月 30 日に報告した。これにより、利用者や関係者の信頼を損なうこととなったため、「お客さまとのパートナーシップの形成」の評価を「C」とした。 今後、ガバナンスや内部統制機能の強化をはじめ、職員のコンプライアンスや適正な事務手続きの徹底を図り、組織風土や職員の意識改革に取り組むことで、信頼関係の再構築を図る。	
【経営分析】	
（水道事業）	
▶ 人口減少に伴い水道料金収入が減少傾向で推移しており、収益性に関する指標は悪化傾向であるが、経常収支比率は、水道基本料金免除の影響を除くと 100%を超えており、収益性を確保できている。 ▶ 今後収益性の悪化が予想され、将来的には純損失が生じる見込みである。	
（下水道事業）	
▶ 人口減少に伴い下水道使用料収入が減少傾向で推移しているが、高利率の企業債の減少による支払利息の減少効果により、収益性が改善。 ▶ R1 年度決算をもって累積欠損金を解消し、経費回収率は大都市と比較して高い水準に位置している。	
【計画評価】	
（安全安心なライフラインの確保）	
▶ 計画期間中の水質基準不適合率 0%を維持し、安全でおいしい水を利用者に供給することができた。 ▶ 災害時給水栓とマンホールトイレを指定避難所となる全市立小学校や区役所等に設置し、避難所機能等の強化を図った。	
（将来に向けた快適な暮らしの確保）	
▶ 局が保有する未利用資産の売却・貸付をはじめ、収納率の向上や収納コストの削減など、積極的な経営改革に取り組んだことで、経営の安定性や事業の持続性が向上した。 ▶ R2 年度から運用開始した「すいりん」では、クレジットカード決済の導入など、利用者サービスの向上をはじめ、業務効率化や経費削減にもつながった。	
（しんらいを築く堺の上下水道への挑戦）	
▶ 利用者より多様な意見を収集し、経営幹部会議で共有・対応策を議論することで、業務改善や利用者サービスの向上につなげた。 ▶ 包括的民間委託について、モニタリング結果等から内容の見直しを行い、業務の安定的な履行を推進した。	